

第5章 実現化に向けた推進体制

本プランの第4章に示した基本戦略とそれに基づく施策は、しながわ観光の振興にとって基本的なメニューを示したものです。各施策を個別・単発的に実施しても大きな成果・効果をあげることはできません。

ここでは、区全体でしながわ観光の各施策の実現化に向けて取り組むための推進体制のあり方について整理します。

5-1 各主体の役割

品川区都市型観光プランを推進する力となり、今後の品川区の都市型観光を担うのは、これまでのしながわ観光を支えてきた、しながわ観光協会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織など、知恵と経験の蓄積を有する個々の人の「輪」です。

品川区都市型観光プランの実現化に向けては、こうした地域の人々の力を結集し、区としながわ観光協会が中心的な役割を担い、観光に関わる各主体がそれぞれの役割を明確に理解し、官民の密接な連携のもとで取組みを進めていくことが重要となります。

◆品川区の役割

区は、主に、都市型観光プランの進行管理、区全体の観光振興施策の企画・立案、国や東京都、関連団体等との調整を担います。また、行政としての重要な役割である、庁内における横断的な連携による観光振興に関連する基盤整備、関連団体や地域等による観光振興の取組みへの協力・支援及び気運の醸成などにも取り組んでいきます。他に、観光振興に資する人材の育成・活用やシティプロモーションの推進、他自治体と連携・協力した広域的な観光振興の促進も図ります。

◆しながわ観光協会の役割

しながわ観光協会は、区と連携した、都市型観光プランの実現に向けた事業等の展開、関連団体や地域等の観光振興の取組みへの協力・支援に取り組んでいきます。また、観光に関する調査、研究、資料の収集及び情報発信の役割も担います。

◆民間事業者（協議会、NPO含む）の役割

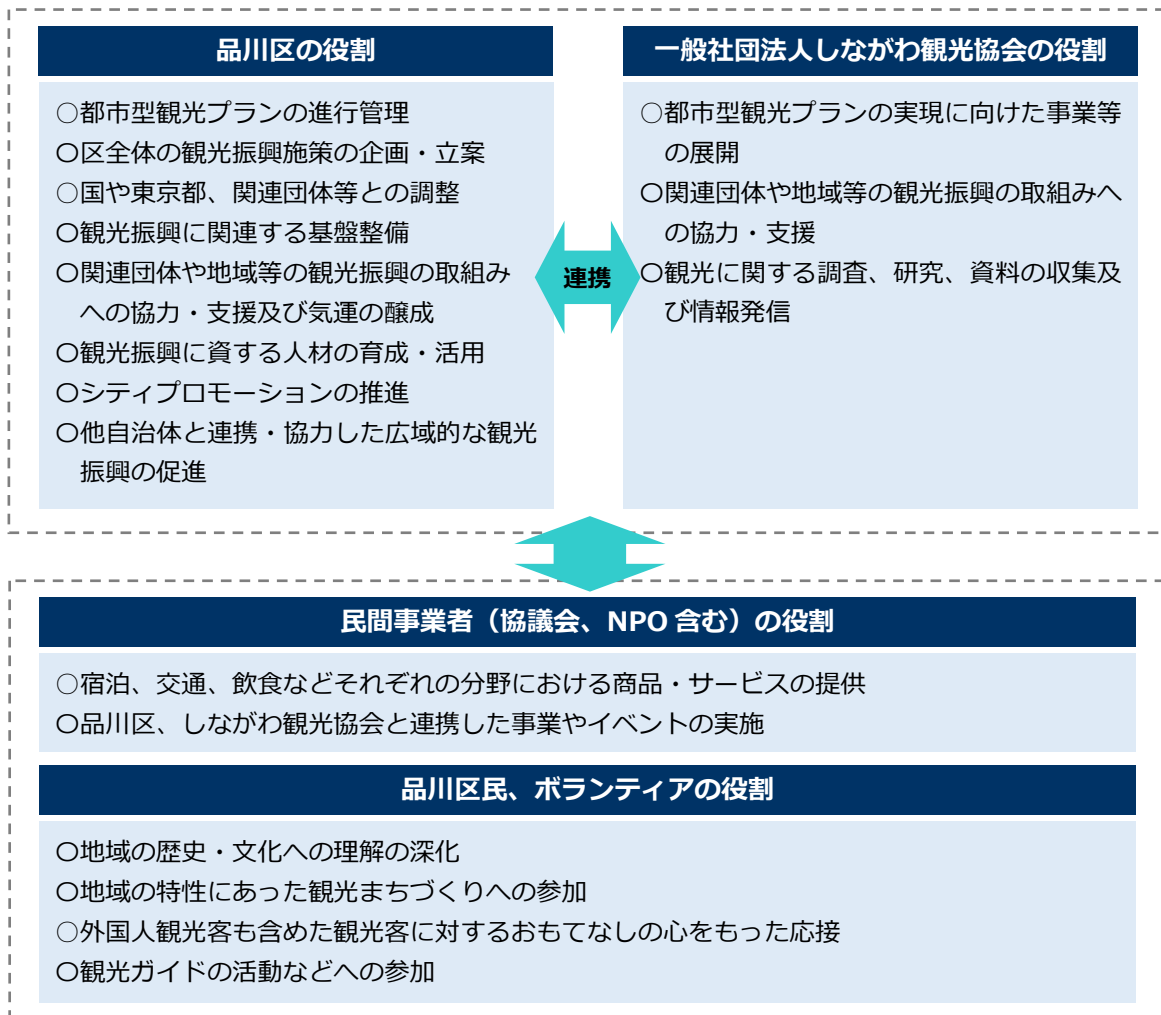
まちづくり協議会やNPO、観光事業者や交通事業者などの民間事業者については、宿泊、交通、飲食など、それぞれの事業分野における商品・サービスの提供を推進していきます。また、事業やイベントを実施するにあたり、区やしながわ観光協会との連携し、

区内の相乗効果を高めていくことも重要です。

◆品川区民、ボランティアの役割

品川区民、ボランティア団体については、地域の歴史・文化への理解を深め、自らしながわ観光を楽しむこと、地域の特性にあった観光まちづくりへ参加することを促進していきます。また、外国人観光客も含めた観光客に対するおもてなしの心をもった応接や観光ガイド活動などへの参加も重要な役割となります。

各主体の役割



5-2 観光振興の推進体制の強化

しながわ観光の推進にあたっては、これまで、しながわ観光協会との連携を中心とし、区内事業者や関連団体と協力し、品川の都市型観光を総合コーディネートしていく組織体制づくりに努めてきました。これからの10年間については、これまでの関係の蓄積をもとに、各主体がより活動しやすい推進体制をめざした組織の連携強化と機能強化が必要となります。

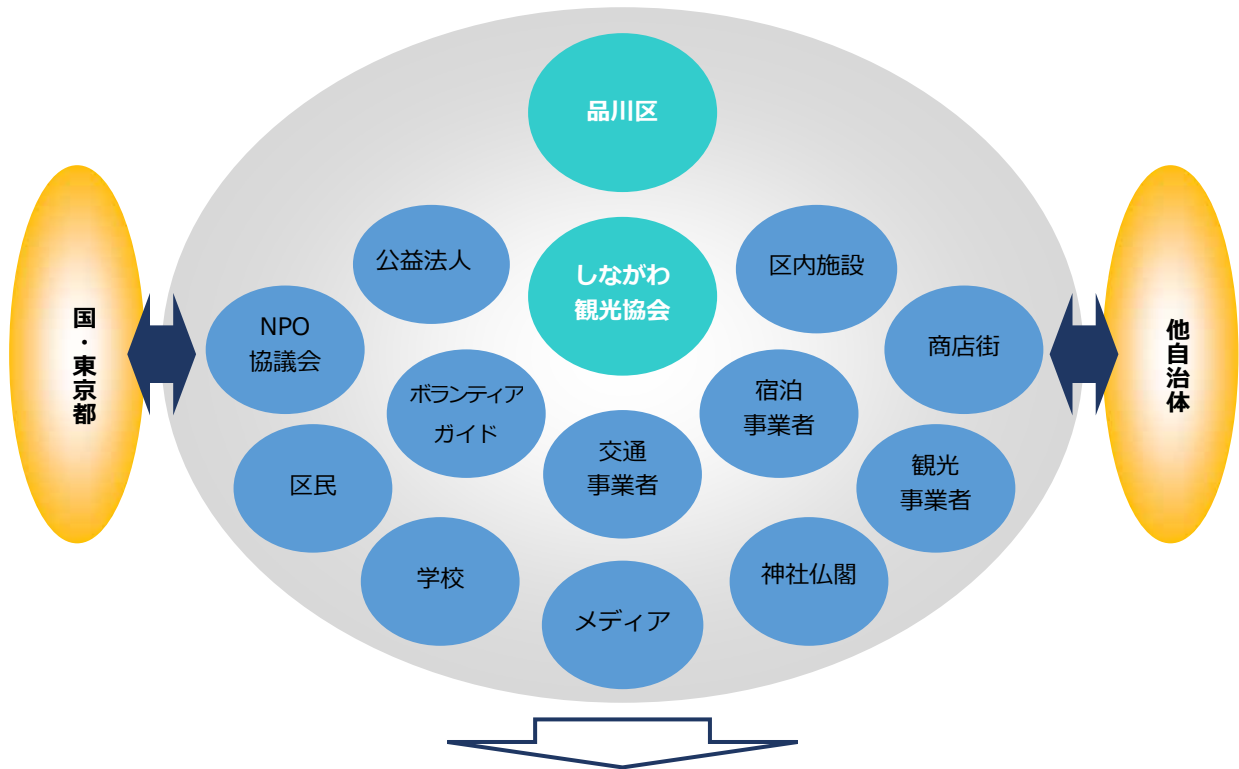
◆様々な主体が参画する協議会組織の設立と本プランの具現化に向けた取組み推進

観光に関連する分野は多岐に渡り、今後もさまざまな主体が関わってくる可能性があります。それらの主体がより活動しやすく、また、その活動内容をより良いものにしていくためには、各主体が緩やかに連携し、必要に応じて情報交換や連携・協力ができるような仕組みを構築することが重要です。

今後のしながわ観光の推進にあたっては、「品川区」と「しながわ観光協会」を中心に、観光に関わる民間事業者や団体のみならず、区民や一般の民間事業者・団体といったこれまで観光に直接的に関わりの少なかった様々な主体が参画する協議会を設立し、“オールしながわ”で観光振興、観光まちづくりを推進するための体制づくりを行います。

このように、従来は必ずしも直接的に観光に関わってこなかった様々な主体の参画を促すことで、本プランで定めた「しながわ観光のコンセプト・目標（本プラン第3章）」や「しながわ観光の戦略と施策（同第4章）」をより多くの主体と共有し、こうした様々な主体と連携・協働して本プランの実現化を図っていきます。

様々な主体が参画する協議会のイメージ



“オールしながわ”での観光振興、観光まちづくりの推進

- ・主体間の情報交換、連携・協力の促進
- ・「品川区都市型観光プラン」の実現化・具現化